

【学研災】2021年度保険説明会 質問及び回答一覧

※説明会でのご質問の他、事前質問、説明会后アンケート、個別相談での質問内容も含まれます。

【アプリの種類について】 (いずれの場合も保険金請求書のペーパーレス化が可能)

★学研災アプリ…事故通知～保険金請求に対応。現在開発中のため、リリース時期は未定。

★LINEアプリ…事故通知のみ対応。保険金請求はForms(フォームズ)から申請。**2022年4月1日から利用可能**。

◇アプリ関係

No.	質問内容	回答
1	事故通知の方法について、来年4月からLINEアプリがスタートし、夏頃から学研災アプリに移行するという認識で間違いないか。	LINEアプリでは事故通知機能のみ4月からご利用いただけます。保険期請求機能を伴う学研災アプリについては開発が遅れておりリリース時期は未定です。
2	学研災の保険金請求方法については、2022年4月に先行してLINEアプリで事故通知した後、夏以降リリース予定の学研災アプリを待たずに先に保険金請求を紙媒体で行ってもよいか。	LINEアプリで事故通知した場合、原則学生あてにForms回答リンク先を案内し、Formsで保険金請求します。Formsでの保険金請求が難しい場合には、従来の紙媒体でも受付できます。なお、学研災アプリについては開発が遅れており、リリース時期は未定です。
3	学研災アプリはスマートフォンを利用するということが、今後、パソコンで利用できるアプリ(ZOOMやSLACK等)での利用等は検討されているか。	LINEアプリ、学研災アプリ共にスマートフォンのみの対応となります。PCでの利用が可能となる場合には追ってお知らせします。
4	学研災アプリについて、付帯学総や外国人留学生向けの付帯学総もアプリを利用するのか。その場合、アプリ画面に英語表示はあるか。	LINEアプリ、学研災アプリ共に対象制度は学研災のみです。また、学研災アプリは日本語表記のみとなります。
5	LINEでの事故報告や学研災アプリの運用が開始する際には、改めてこのような説明会を開催する予定があるか。	LINEアプリでの事故通知や学研災アプリの運用開始に伴う説明会の開催予定はございません。
6	①従来どおり、紙面(事故通知ハガキ・FAX)の手続きをするならば専用の事故対応メールアドレスの登録は不要となるのか。 ②専用の事故対応メールアドレスは部局担当係毎に設定できるのか。	①紙面でのお手続きであっても保険支払完了メールを送信するため、全ての学校においてメールアドレスのご登録をお願いします。 ②専用メールアドレスは、学内で閲覧可能な共通アドレスを1つのみご登録ください。
7	学研災アプリ始動前のLINEアプリはどのようにセキュリティ面をカバーするのか。	LINE社のサーバーに個人情報を通さない仕様となり、セキュリティ基準を厳格に順守していますが、抵抗のある学生については引き続き従来の手続き方法で問題ありません。

No.	質問内容	回答
8	来年度(2022年度)に入ってから学研災アプリがリリースされるまでは従来通りの請求で問題ないか。	問題ありません。
9	<p>①事故通知の際、学生はどのような情報を入力するのか。事故通知はがきの内容にプラスαがあるのか。</p> <p>②事故通知の際、学校にも通知が来るということだが、学生が間違えて申請した場合も含めその度に通知がくるのか。</p>	<p>①LINEアプリでは、基本的には事故通知はがきと同様の情報を入力します。記載が少ないように選択式を多く取り入れており、利便性は事故通知はがきよりも向上しております。</p> <p>②LINEアプリでは、学生が誤って申請した場合も、保険加入確認が取れたものについては学校に通知が入ります。</p>
10	LINEでの事故通知の段階で補償可否を判別していただけるか。	事故通知の段階で補償可否を判別する機能はありません。保険金請求いただいた上で、お支払いできない場合には学生に個別に連絡します。
11	事故対応メールアドレスの登録は1つということだが、大学の各学部担当者は、登録したアドレスに届けられる全学生の情報から自分の学部所属の学生の情報を拾って保険加入証明を行う、という流れを想定しているか。	各学部ご担当者様におかれては、学内で共通閲覧可能なメールアドレス1つをご登録いただき、フラグ機能等を使用して学内対応者を仕分けていただくようご協力をお願いします。
12	学研災アプリでの保険金請求が面倒との理由から、今後学生が「報告・請求」をしなくなるのではないか。	事故通知はがきやFAXを学校窓口まで取りに行く手間が省け、学生にとっては申請し易くなると考えております。また、スムーズに申請できるよう学生向け操作マニュアルを作成中です。